

平成19年3月5日

各 位

会 社 名 株式会社ウェッジホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 福井 政文  
(コード2388 大証ヘラクレスG)  
問合せ先 取締役管理部長 竹村 卓郎  
(TEL. 03-5217-0723)

### 連結子会社からの事業譲受けについてのお知らせ

当社は、平成19年3月5日開催の取締役会において、当社の子会社である株式会社エンジンの事業の一部を譲受することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 事業譲渡の理由

当社グループはアニメ、映画、音楽、出版、携帯コンテンツ等、あらゆるメディアをカバーするコンテンツ制作機能およびDVDや関連商品の販売流通機能を整備し、コンテンツを創出する『川上』から消費者へ届ける『川下』までを網羅している総合エンタテインメント企業であります。

このたび、当社の完全子会社である株式会社エンジンのたのみこむ事業部を株式会社ウェッジホールディングスに事業譲渡することを決定いたしました。たのみこむ事業部は、インターネット上で消費者のアイデア・商品リクエストを収集し、商品企画開発を行う顧客参加型通販サイトを運営しております。

#### ①視聴者（ユーザー）の声を生かしたコンテンツづくりへ

当社は当該事業部を譲受することにより『たのみこむ』を当社の企画開発部の中核に位置付け、当社のアニメ制作、コンテンツ企画、携帯コンテンツ配信、カード・オンラインゲーム事業におけるプロデュース機能と、消費者参加型の商品開発を行う『たのみこむ』事業のマーケティングおよび開発機能とが融合することにより、これまで以上に付加価値の高いコンテンツ企画開発が実現すると考えております。

#### ②情報およびコンテンツ配信を目的とした『たのみこむ』のメディア化

当社は『たのみこむ』上において、当社グループが有するコンテンツのプロモーション、また課金を視野に入れた配信を検討しております。コンテンツごとのコミュニ

ティをこれまで以上に活発化させ、広告収入等新たな収益の確保に努めます。

### ③オリジナル商品の増強と商品販売の強化

当社グループの有するコンテンツおよびキャラクターを活用し、オリジナル商品の開発を強化、開発点数の増加をはかります。また当社グループが関わるテレビ番組や映画作品と連動し、新規会員の獲得、商品販売の強化をはかってまいります。

また当社は当事業年度より推進しているグループ内の資産の効率的配分と資源の集中化をさらに強化し、当社グループコンテンツ資産価値の増大と株主資産価値の増大に努めてまいります。

一方、株式会社エンジンにおいては『BLISTER』および『BLISTER DIRECT』、『CHARA-NET』業務に特化し、国内外に向けたキャラクター商品販売体制を強化してまいります。さらに、同業界において『BLISTER』ブランドの構築を全面的に推進してまいります。

## 2. 事業譲渡の内容

### (1) 事業譲渡の内容

- ① <http://www.tanomi.com/> のインターネットサイトの運営
- ② 消費者参加型商品企画および開発業務、インターネットを活用した通信販売業務
- ③ 事業部門の債権債務、人員

### (2) 譲渡部門の最近事業年度の経営成績

	平成 17 年 9 月期	平成 18 年 9 月期
売上高	255,113 千円	300,965 千円
売上総利益	68,900 千円	70,578 千円
営業利益	18,260 千円	12,147 千円
経常利益	18,311 千円	13,061 千円

### (3) 譲渡部門の資産、負債の項目および金額（平成 18 年 9 月末現在）

資 産		負 債	
科 目	金 額	科 目	金 額
①流動資産	50,127 千円	③買掛金	30,454 千円
内たな卸資産	22,651 千円		
②固定資産	2,000 千円		
①+②資産合計	52,127 千円	③負債合計	30,454 千円

※ 譲渡価額および譲渡方法等については両社協議の上決定いたします。

### 3. 事業譲渡の日程

- 平成 19 年 3 月 5 日 事業譲渡契約書の承認取締役会（当社）
- 平成 19 年 3 月 5 日 事業譲渡契約書の承認株主総会（株式会社エンジン）
- 平成 19 年 3 月 5 日 事業譲渡契約書の調印
- 平成 19 年 4 月 1 日 事業譲渡日

### 4. 業績に与える影響

当事業譲渡は当社グループ間においての取引であり連結業績に与える影響はありません。なお、個別業績に関しては平成 18 年 11 月 17 日に発表した平成 19 年 9 月期個別業績予想に織り込み済です。